

## 屋久島はどこにある？ 大和と琉球と大陸のはざままで

青山潤三

### I 総論

#### 究極の「固有種」ヤクシマリンドウ&シャクナンガンピ 0-10分

ヒメヒサカキ/ヤクシマシオガマ/カンツワブキ/ヤクシマドウダンツツジ/ヤクシマカワゴロモ/ホソバハグマ

おぎなりの「固有種」という表現は思考停止につながる

どのような次元での（他との関連に於ける）「固有」なのか？

「在来種」と「固有種」の関係

「固有種（固有分類群）」ではなく、堀田満の「固有的植物」という捉え方（対置語「雑草的植物」）

「答え」よりも、俯瞰的に見渡すことの大事さ

#### 時間と空間 “重層”という概念 南北のジョイント 10-20分

北琉球と南琉球（八重山）をセットで捉える/渡瀬線は「旧北区」と「東洋区」の境ではない

東アジアの区分再考（日本海周辺地域/長江流域周縁地域/中琉球の三地域に大分割）

屋久島・種子島・トカラ火山列島（三島・口永良部・十島）の関係

北琉球（屋久）と中琉球（殊に奄美）との関係 ヒメチャルメルソウ、ヒメカカラ、ヤクシマスミレ、ケラマツツジ、ヤクシマツチトリモチ

### II 中腹ヤクスギ林、山上ヤクザサ帯、低地照葉樹林林床に次ぐ、第IVの重要植生帯“中間温帯”

#### ヤクタネゴヨウ 20-30分

「動き続ける極相」という概念

高山の矮性樹木ハイマツと、南海の巨木ヤクタネゴヨウは同じ仲間

一見、対極の環境に生育する“カザンマツ・タカネゴヨウ”と“ヤクタネゴヨウ”の共通項  
屋久島の森と中国奥地のグリーンベルト、東シナ海とチベット高原、、、

#### ヤクシマオナガカエデ 30-40分

屋久島に於ける中間温帯林-里山の原型の成立

3上種の分布様式模式図

ウリハダカエデーウリハダカエデ（屋久島高地） 教科書通り

ウリカエデーシマウリカエデータイワンアカジクカエデ

ホソエカエデーヤクシマオナガカエデータイワンオナガカエデ 逆転現象

台湾産2種と北米東部産

ヤクシマオナガカエデとシマウリカエデの関係

**ヤクシマコンテリギ** 40-50分

ヤクシマコンテリギの独自性についての検証（主にトカラアジサイとの比較）

ガクウツギートカラアジサイーカラコンテリギ種群についての定義

種群の分布①：屋久島・口永良部島・黒島・口之島・徳之島・沖永良部島・伊平屋島

種群の分布②：石垣島・西表島・台湾・中国大陸・日本本土

種子島・奄美大島・沖縄本島に（この仲間の）分布を欠く謎

ヤクシマコンテリギとコガクウツギ（ヤクシマガクウツギ）の関係

愛子岳と荒川林道の混生地

**リュウキュウイチゴーヤクシマキイチゴ complex** 50-60分

2種の黄苺

安房林道、白谷林道、尾之間歩道、モッコム岳での移り変わり

本州中部-北部 モミジイチゴ

本州西部 - 九州 ナガバモミジイチゴ

トカラ火山列島 ハチジョウイチゴ

リュウキュウイチゴは狭域分布種？

台湾と中国大陸に於ける実態

南限、北限、分布中心、固有種、広域分布種を兼ね備えた種

**アズキヒメリンドウ** 60-70分

へツカリンドウ（典型）：甌諸島、大隅半島、トカラ列島、奄美大島、沖縄本島、久米島

へツカリンドウ（オキナワセンブリ型）：奄美大島（一部）、沖縄本島（ヤンバル）

シンテンアケボノソウ（シンテンアケボノソウ）：台湾北部

シンテンアケボノソウ（ムラサキヒメリンドウ）：中国大陸東南部

アズキヒメリンドウ（アズキヒメリンドウ）：屋久島

アズキヒメリンドウ（エビチャヒメリンドウ）：伊平屋島

ダイカンサンセンブリ：台湾南部

シマアケボノソウ：石垣島、西表島

質疑応答 80-90分